



年 組 名前

道新でワークシート

校歌 込められた思い

七飯町立峠下小学校

校歌の1番に登場する横津岳の麓の「すそく果て」にて、1880年(明治13年)に開校した。札幌本道(現在の国道5号)の建設工事関係者のための小屋を借りて校舎としたのが始まりで、1948年に作られた校歌は、併設していた旧峠下中に新校歌ができる57年まで、旧峠下中の校歌としても歌われていた。

作詞したのは当時の斎藤恵治郎校長。3番まで「峠下」の地名が1回ずつ現れる。2番の「久根別川の清らけき つきせぬ流れ」は今も変わらず、秋には上流まで遡上したサケを観察できる。

児童数は現在19人。学校の周辺には田畑が広がり、3番は「みゆる稲田は 夕映えて」と歌う。学校近くの水田でも毎年、子どもたちが田植えや稲刈りを体験する。5年の A さん(10)が好きなのは2番の

緑も深き 横津岳
昇る朝日も さわやかに
すそく果ての 峠下
わが学びの ある所

仲の良い校風伝わる曲に



横津岳の麓に建つ現在の峠下小の校舎

「校風がある」というフレーズだとい、「全校みんなが仲の良い峠下小ならで

はの雰囲気を感じる」。七飯中の当時の高橋長一郎校長がつけた曲は、後半が次第に盛り上がる。伴奏を担当する6年の B さん(12)は「明るく、全員で楽しく歌えるメロディーで、学校に合っている」と話す。

(1番の歌詞)

(梶蓮太郎)

2023年4月27日(木) 夕刊 函館・渡島・桧山版 10ページ (記事は再編集しています)

- ① 記事の校歌には、その学校の地域の風景が歌詞となっています。1番と3番は1日の中のいつ頃の風景でしょう。次の中から適当と思われるものをそれぞれ選びましょう。

ア. 朝 イ. 昼 ウ. 夕 エ. 夜

1番

3番

- ② 記事の校歌には、季節を感じさせる言葉が入っています。どこからどんな季節が感じられますか。また、あなたの学校の校歌にも季節を感じさせる言葉があるか探してみましょう。

- ③ あなたが取材を受け、「あなたの学校の校歌の良いところは何ですか。」とたずねられたら、何と答えますか。